

| 新     | 旧   |                      |   |  |    |   |  |  |
|-------|---|----------------------|---|--|----|---|--|--|
| 同右    | 別紙 1<br>カリキュラムについて<br>◎重度訪問介護従業者養成研修課程<br>(基礎研修課程)  |                      |   |  |    |   |  |  |
|       | <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>時間数</th> <th>目的</th> <th>内容</th> </tr> </thead> </table> | 科目名                  | 時間数   | 目的   | 内容 | 3 |  |  |
|       | 科目名   | 時間数                  | 目的  | 内容   |    |   |  |  |
|       | I 講義  | 2                    | 1 重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義   | <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉業務従事者としての倫理</li> <li>在宅生活を取り巻く状況</li> </ul>   |    |   |  |  |
|       | 2   | 1                    | 基礎的な介護技術  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームヘルプサービスに従事する際の職業倫理について理解する</li> <li>介護の目的、機能と基本原則</li> <li>良好な姿勢保持の方法と留意点</li> <li>安全な食事介助の方法 等</li> </ul>   |    |   |  |  |
|       | II 実習   | 7                    |   |  |    |   |  |  |
|       | 1   | 5                    | 基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術   | <ul style="list-style-type: none"> <li>食事の介護</li> <li>排泄・尿失禁の介護</li> <li>衣類着脱の介護</li> <li>体位・姿勢交換の介護</li> <li>生活(清拭、洗髪、口腔ケア等)の介護 等</li> </ul>  |    |   |  |  |
|       | 2   | 2                    | 外出時の介護技術に関する実習  | <ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子への移乗の方法を修得する</li> <li>車椅子での移動介護の場合の車椅子の取り扱いや移動方法を修得する</li> <li>床と車椅子間の移乗</li> <li>ベットと車椅子間の移乗</li> <li>車椅子の取り扱い方</li> <li>車椅子移動介助における注意</li> <li>平地での移動</li> <li>階段における移動</li> <li>エスカレーター、エレベーターの利用</li> <li>乗り物を利用する場合の注意</li> <li>歩行移動介助方法の留意点 等</li> </ul> |    |   |  |  |
|       | 合計  | 10                   |   |  |    |   |  |  |
|       | (追加研修課程)  |                      |   |  |    |   |  |  |
|       | <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>時間数</th> <th>目的</th> <th>内容</th> </tr> </thead> </table> | 科目名                  | 時間数   | 目的   | 内容 | 7 |  |  |
|       | 科目名   | 時間数                  | 目的  | 内容   |    |   |  |  |
|       | I 講義  | 4                    | 1 医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する講義   | <ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な疾患の基礎知識と予防・対処方法</li> <li>風邪、発熱、腹痛、火傷、骨折、食中毒 等</li> <li>身体の観察</li> <li>観察の視点、体温測定、血圧測定 等</li> <li>薬の飲ませ方と保管</li> <li>医療関係制度の基礎知識</li> <li>介護保険法における特定疾病の概要</li> <li>安全な介護方法(食事・清拭・洗髪等)</li> </ul>  |    |   |  |  |
|       | 2   | 2                    | コミュニケーションの技術に関する講義  | <ul style="list-style-type: none"> <li>言語障害を伴う障害の種類と特徴</li> <li>筋萎縮性側索硬化症</li> <li>言語障害のある人への接し方と意思疎通方法とその留意点</li> <li>利用者個々のコミュニケーションの取り方</li> <li>意思伝達装置(トーキングエイド等)の使用方法等</li> </ul>   |    |   |  |  |
| 3     | 1   | 緊急時の対応及び危険防止について     | <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス提供時に起こりうる緊急時の対応と危険防止の方法を学ぶ</li> <li>介護提供時の事故防止の留意点と退所のしかた</li> <li>緊急時の対処のしかた</li> <li>利用者への対応、連絡体制 等</li> </ul> |  |    |   |  |  |
| II 実習 | 3   |                      |   |  |    |   |  |  |
| 3     | 3   | 重度障害者の介護サービス提供現場での実習 | <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎研修課程での実習1、2を踏まえ、障害程度区分五又は六である肢体不自由者に対して、実際のサービス提供現場での介護を体験する</li> </ul>  |  |    |   |  |  |
| 合計    | 10  |                      |   |  |    |   |  |  |

| 新                      |     |  |   | 旧                      |     |   |  |
|------------------------|-----|--|---|------------------------|-----|---|--|
| ◎同行援護従事者養成研修<br>(一般課程) |     |  |   | ◎同行援護従事者養成研修<br>(一般課程) |     |   |  |
| 科目名                    | 時間数 | 目的   | 内容  | 科目名                    | 時間数 | 目的  | 内容   |
| I 講義                   | 8.5 |  |   | I 講義                   | 12  |   |  |
| 1 外出保障                 | 1   | 視覚障害者(児)の外出について考えるとともに、生活を支える視点や視覚障害者(児)の外出保障を担うことを理解する。                           | ・外出保障とは<br>・外出保障の歴史<br>・外出保障の現状   | 1 視覚障害者(児)福祉サービス       | 1   | 視覚障害者(児)福祉の制度とサービスの種類、内容、役割を理解する                        | ・障害者福祉の背景、動向、制度とサービス<br>・視覚障害の概念と定義、現状<br>・視覚障害者の移動支援制度の変遷<br>・移動支援と同行援護<br>・移動に関する制度                          |
| 2 視覚障害者の理解と疾病①         | 1   | 視覚障害者(児)の様々な見え方、見えにくさによる不便さ、および業務において直面する頻度の高い疾病についての留意点を学び、具体的な支援について理解する。        | ・視覚障害者の理解(視覚障害による不便さ、必要な情報)   | 2 同行援護の制度と従業者の業務       | 2   | 同行援護の制度と従業者の業務を理解する                                     | ・同行援護概論<br>・同行援護従業者の職業倫理<br>・同行援護の制度、制度の利用<br>・同行援護従業者の業務<br>・リスクマネジメント、実務上の留意点                                |
| 3 視覚障害者の理解と疾病②         | 0.5 | 視覚障害者(児)の様々な見え方、見えにくさによる不便さ、および業務において直面する頻度の高い疾病についての留意点を学び、具体的な支援について理解する。        | ・視覚障害者と疾病の理解(様々な見えかた、見えにくさ、主な眼疾患の特徴とその見えにくさについての支援のポイント)                                    | 3 障害・疾病の理解①            | 2   | 業務において直面する頻度の高い障害・疾病を医学的・実践的視点で理解するとともに、援助の基本的な方向性を把握する | ・視覚障害者についての理解、実態とニーズ<br>・「見え」の構造<br>・視覚障害の原因疾病と症状<br>・同行援護の留意点   |
| 4 視覚障害者(児)の心理          | 1   | 視覚障害者(児)の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について理解する。  | ・全盲の心理<br>・ロービジョンの心理<br>・視機能低下の心理<br>・障害発生時期の心理<br>・外出時の心理                                  | 4 障害者(児)の心理①           | 1   | 視覚障害者(児)の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する                  | ・先天性視覚障害者の心理<br>・中途視覚障害者の心理  |
| 5 視覚障害者(児)福祉の制度とサービス   | 1.5 | 障害者(児)福祉の制度とサービスの変遷を踏まえ、関係法や制度を理解する。同行援護従業者が外出時に活用可能な制度、および視覚障害者(児)が利用する関係施設を理解する。 | ・障害者福祉の動向<br>・障害者福祉に関連する法律<br>・障害者総合支援法<br>・視覚障害に関する施設等<br>・障害者を対象としたその他の制度                 | 5 情報支援と情報提供            | 2   | 移動中に必要な情報支援、情報提供の基礎を習得する                                | ・言葉による情報提供の基礎<br>・移動中の口頭による情報支援<br>・状況や場面別での情報提供   |
| 6 同行援護の制度              | 1   | 同行援護の成り立ちや制度の仕組み、同行援護以外の外出制度等について理解する。   | ・同行援護以前の外出支援制度の歴史<br>・同行援護制度の概要<br>・他の外出支援制度との関係<br>・同行援護制度の課題                              | 6 代筆・代読の基礎知識           | 2   | 情報支援としての代筆・代読の方法を習得する                                   | ・代筆、代読、点字、音訳の基礎<br>・情報支援機器の種類<br>・自ら署名・押印する方法など  |
| 7 同行援護従業者の実際と職業倫理      | 2.5 | 従業者の役割、派遣の流れ、具体的な業務内容と職業倫理を理解する。利用者の様々な状態に合わせた支援方法や外出に必要な知識を理解する。                  | ・同行援護従業者の業務内容<br>・同行援護従業者の職業倫理<br>・同行援護の実際(様々な利用者への対応等)                                     | 7 同行援護の基礎知識            | 2   | 同行援護の目的と機能を理解し、基本原則を把握する                                | ・基本的な考え方<br>・視覚障害者への接し方、同行援護中の留意点<br>・歩行に関する補装具、用具の知識<br>・日常生活動作に関する用具の知識<br>・環境と移動に伴う機器                       |
| II 講義・演習               | 3.5 |  |   | II 演習                  | 8   |   |  |
| 1 情報提供                 | 2   | 情報提供の方法や内容を理解し、実際の場面別の情報提供方法を習得する。   | ・情報提供とは<br>・情報提供の内容<br>・場面別情報提供の実際<br>・情報提供時の配慮<br>・演習(3題程度)                                | 1 基本技能                 | 4   | 基本的な移動支援の技術を習得する  | ・あいさつから基本姿勢まで<br>・基本姿勢と留意点<br>・してはいけないこと<br>・歩行、曲がる<br>・狭い場所での通過<br>・ドアの通過<br>・いすへの誘導<br>・段差・階段<br>・交通機関の利用の基本 |
| 2 代筆・代読①               | 1   | 代筆・代読の内容を理解し、実際の場面別の代読・代筆の方法を習得する。   | ・代読(業務における代読、代読の範囲・基本的な方法、留意点)<br>・代筆(業務における代筆、代筆の範囲・基本的な方法、留意点・代筆できないもの)<br>・演習(代読1題・代筆1題) | 2 応用技能                 | 4   | 応用的な移動支援の技術を習得する  | ・環境に応じた歩行<br>・さまざまな階段<br>・さまざまなドア<br>・エレベーター、エスカレーター<br>・車の乗降<br>・車いす利用の視覚障害者への対応                              |
|                        |     |  |   | 合計                     | 20  |   |  |

| 新                       |     |   |  | 旧 |
|-------------------------|-----|---|--|---|
| 科目名                     | 時間数 | 目的  | 内容   |   |
| 3. 代筆・代読②               | 0.5 | 代筆・代読の内容を理解し、<br>実際の場面別の代読・代筆の方法を習得する。                | ・代読・代筆の具体的な方法  |   |
| Ⅲ演習                     | 16  |   |  |   |
| 1 誘導の基本技術<br>①          | 4   | 誘導に必要な情報提供と基本技術を習得する。                                 | ・椅子への誘導・階段（スロープ、溝などをまたぐ、段差）  |   |
| 2 誘導の基本技術<br>②          | 3   | 誘導に必要な情報提供と基本技術を習得する。                                 | ・基本姿勢・歩く（誘導の考え方、あいさつ、基本姿勢、やってはいけないこと、歩く、止まる、曲がる、方向転換）<br>・狭いところの通過、ドアの通過 |   |
| 3 誘導の応用技術<br>（場面別・街歩き）① | 4   | 様々な場面での具体的な誘導方法を取得する。実際の街歩きにより、誘導時の留意点や具体的な誘導技術を習得する。 | ・共通（トイレ、食事）<br>・街歩き（歩道、歩車道の区別のない道路、天候、踏切、グレーチング、混雑地、様々なドア、様々な段差）         |   |
| 4 誘導の応用技術<br>（場面別・街歩き）② | 1   | 様々な場面での具体的な誘導方法を取得する。実際の街歩きにより、誘導時の留意点や具体的な誘導技術を習得する。 | ・場面別（病院・薬局、買い物、行政窓口、金融機関、会議・研修、余暇活動、冠婚葬祭）                                |   |
| 5 交通機関の利用               | 4   | 交通機関の乗降練習等を通して、移動支援技術を習得するとともに、乗車中の留意点を理解する。          | ・電車の乗降<br>・バスの乗降<br>・車の乗降<br>・船・飛行機の乗降                                   |   |
| 合計                      | 28  |   |  |   |

| 新                |     |   |  | 旧             |     |                                      |  |
|------------------|-----|---|--|---------------|-----|--------------------------------------|--|
| (応用課程)           |     |   |  | (応用課程)        |     |                                      |  |
| 科目名              | 時間数 | 目的  | 内容   | 科目名           | 時間数 | 目的                                   | 内容   |
| I 講義             | 6   |   |  | I 講義          | 2   |                                      |  |
| 1 サービス提供責任者の業務   | 1   | 事業所やサービス提供責任者の役割を学び、利用者のニーズに基づいた質の高い派遣がサービス提供責任者の下で行われるようにする。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の体制</li> <li>事業所の役割</li> <li>サービス提供責任者の役割</li> <li>サービス提供責任者の業務</li> </ul> | 1 障害・疾病の理解②   | 1   | 業務において直面する障害・疾病を医学的、実践的視点でより深く理解する   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「見える」ということ</li> <li>「見えること」と「行動」</li> <li>弱視の見え方・見えにくさ</li> <li>盲重複障害について</li> </ul>  |
| 2 様々な利用者への対応     | 1   | 利用者の多様化について理解し、重複障害等の特性を踏まえた外出に必要な知識を学ぶ。                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化、障害の重度化・重複化の現状</li> <li>高齢の視覚障害者、重複障害者への支援の留意点。</li> </ul>                 | 2 障害者（児）の心理 ② | 1   | 視覚障害者（児）の心理に対する理解を深め、適切な対応ができるよう習得する | <ul style="list-style-type: none"> <li>障害の受容</li> <li>家族の心理</li> <li>視覚障害者の人間関係</li> </ul>   |
| 3 個別支援計画と他機関との連携 | 1   | サービス等利用計画に基づき、サービス提供責任者が事業所で策定する個別支援計画や関係機関との連携等について理解する。         | <ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画の策定</li> <li>関係機関との連携</li> </ul>  | II 演習         | 10  |                                      |  |
| 4 業務上のリスクマネジメント  | 1   | 事業所としてリスクマネジメントを図るため、同行援護従業者の派遣にあたり発生の可能性のある事故や発生時の管理体制等について理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所のリスクマネジメント</li> <li>同行援護従業者のリスクマネジメント</li> <li>事故発生時の管理体制</li> </ul>       | 3 場面別基本技能     | 3   | 日常的な外出先での技術を習得する                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>窓口やカウンター</li> <li>買い物</li> <li>雨の日、雪の日</li> <li>金銭、カード</li> <li>電車の乗降の留意点</li> <li>バスの乗降の留意点</li> <li>船、飛行機の乗降の留意点</li> </ul> ※当事者の参加に努めること |
| 5. 従業者研修の実施      | 1   | 事業所内の同行援護従業者に対する研修の目的や内容等について理解する。                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>従業者研修の目的</li> <li>従業者研修の内容</li> <li>従業者の質の向上のための工夫</li> </ul>                 | 4 場面別応用技能     | 3   | 目的に応じた外出先での技術を習得する                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>病院、薬局</li> <li>式典、会議、研修など</li> <li>冠婚葬祭</li> <li>盲導犬ユーザーへの対応</li> </ul> ※当事者の参加に努めること   |
| 6 同行援護の実務上の注意    | 1   | 同行援護制度の実務上の留意点や他の福祉制度との関係について学ぶ。                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>同行援護の制度上の留意点</li> <li>同行援護の実務上の留意点</li> <li>介護保険制度との関係</li> </ul>             | 5 交通機関の利用     | 4   | 交通機関での移動支援技術を習得する                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>電車、路線バス利用時における移動支援の実際</li> </ul> ※当事者の参加に努めること  |
| 合計               | 6   |   |  | 合計            | 12  |                                      |  |

| 新  | 旧                                   |     |  |                                       |
|----|-------------------------------------|-----|--|---------------------------------------|
| 同右 | ◎行動援護従事者養成研修課程                      |     |  |                                       |
|    | 科目名                                 | 時間数 | 目的   | 内容                                    |
|    | Ⅰ 講義                                | 6   |  |                                       |
|    | 1 行動援護にかか<br>る 制度及びサービ<br>スに 関する講義  | 2   | 行動援護サービスの内容、役割<br>を理解する  | ・ 障害者福祉の制度サービス<br>・ 利用者の人権と従事者の職業倫理   |
|    | 2 行動援護利用<br>者の 障害特性と障害<br>理解 に関する講義 | 2   | 業務において直面する頻度の高<br>い障害・疾病を医学的、実践的<br>視点で理解するとともに、介護<br>に必要な状態像を把握する | ・ 利用者の障害、疾病の理解                        |
|    | 3 行動援護の技術<br>に 関する講義                | 2   | サービス提供に必要な記述とサ<br>ービスを提供するための個別支<br>援計画の作成について学ぶ                   | ・ 行動の予測と対応の技術<br>・ アセスメントと個別支援計画の作成   |
|    | Ⅱ 演習                                | 14  |  |                                       |
|    | 1 行動援護の事例<br>検 討                    | 4   | 実際の事例を用いて、サービス<br>提供時の問題点や留意点を確認<br>し、対応策等を導き出す                    | ・ 複数のグループ（1グループ5、6人程<br>度）に分かれ事例検討を行う |
|    | 2 行動の理解の実<br>際                      | 3   | 行動障害の基礎と応用行動分析<br>による理解の実際と対応技術を<br>習得する                           | ・ 行動援護の基礎と応用分析について<br>・ ロールプレイの実際     |
|    | 3 事例分析（グル<br>ー プ ワーク）               | 4   | 事例を使用して、利用者への理<br>解と実践を想定しての問題点、<br>留意点等を学ぶ                        | ・ 演習（1）（2）の内容をもとに、グル<br>ープごとに、事例検討を行う |
|    | 4 事例分析検討                            | 3   | 演習結果の発表及び講評  |                                       |
|    | 合 計                                 | 20  |  |                                       |

新

旧

同右

別紙2

講師について

第1 留意事項

1 担当科目数

- ・同一の講師が担当できる科目は1研修において3科目以内とする。
- ただし、関連する講義と演習を同一の講師が担当する場合はあわせて1科目と数える。

2 講師の技量

- ・講義科目については、質疑応答できる技量を有する者であること。
- ・演習科目については、事例検討において指導・助言できる技量を有する者であること。
- ・大学・短期大学・介護福祉士養成校等において各科目の内容を講義している者は、各科目の講師に

適しているものと認める。

第2 各課程の講師基準について

◎重度訪問介護従業者養成研修課程  
(基礎研修課程)

| 科 目                              | 時間数 | 講 師  |
|----------------------------------|-----|--|
| 1 講義                             | 3   |  |
| 1) 重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義         | 2   | 利用者の障害、疾病に関する知識を持つとともに、利用者の生活実態と心理に関する知識を有する者<br>例 社会福祉士・介護福祉士<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師<br>理学療法士・作業療法士<br>指定居宅介護事業所サービス提供責任者 |
| 2) 基礎的な介護技術                      | 1   | 利用者の障害、疾病に関する知識を持つとともに、介護経を生かした指導が可能な者<br>例 介護福祉士<br>指定居宅介護事業所サービス提供責任者<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師<br>重度訪問介護従事者                |
| 2 実習                             | 7   |  |
| 1) 基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーション技術 | 5   | 介護技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 介護福祉士<br>指定居宅介護事業所サービス提供責任者<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師<br>重度訪問介護従事者                               |
| 2) 外出時の介護技術に関する実習                | 2   | 介護技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 介護福祉士<br>指定居宅介護事業所サービス提供責任者<br>重度訪問介護従事者<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師                               |
| 合 計                              | 10  |  |

| 新  | 旧  |   |     |     |      |   |  |  |   |  |                       |   |   |                     |   |   |      |   |  |                   |   |  |     |    |  |
|--|--|---|-----|-----|------|---|--|--|---|--|-----------------------|---|---|---------------------|---|---|------|---|--|-------------------|---|--|-----|----|--|
| 同右   | <p>(追加研修課程)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1486 342 1938 373">科 目</th> <th data-bbox="1938 342 2027 373">時間数</th> <th data-bbox="2027 342 2689 373">講 師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1486 373 1938 405">1 講義</td> <td data-bbox="1938 373 2027 405">7</td> <td data-bbox="2027 373 2689 405"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 405 1938 636">1) 医療的ケアを必要とする重度訪問<br/>介護利用者の障害及び支援に関する<br/>講義</td> <td data-bbox="1938 405 2027 636">4</td> <td data-bbox="2027 405 2689 636">関係する医学や在宅看護に関する知識を有する者<br/>例 医師<br/>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師<br/>介護福祉士<br/>指定居宅介護事業所サービス提供責任者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 636 1938 835">2) コミュニケーションの技術に関する講義</td> <td data-bbox="1938 636 2027 835">2</td> <td data-bbox="2027 636 2689 835">利用者の障害、疾病に関する知識を持つとともに、介護経験を生かした指導が可能な者<br/>例 介護福祉士<br/>指定居宅介護事業所サービス提供責任者<br/>重度訪問介護従事者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 835 1938 993">3) 緊急時の対応及び危険防止について</td> <td data-bbox="1938 835 2027 993">1</td> <td data-bbox="2027 835 2689 993">利用者の障害、疾病に関する知識を持つとともに、介護経験を生かした指導が可能な者<br/>例 介護福祉士<br/>指定居宅介護事業所サービス提供責任者<br/>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 993 1938 1024">2 実習</td> <td data-bbox="1938 993 2027 1024">3</td> <td data-bbox="2027 993 2689 1024"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 1024 1938 1161">1) 介護サービス提供現場での実習</td> <td data-bbox="1938 1024 2027 1161">3</td> <td data-bbox="2027 1024 2689 1161">介護技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br/>例 介護福祉士<br/>重度訪問介護従事者<br/>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1486 1161 1938 1192">合 計</td> <td data-bbox="1938 1161 2027 1192">10</td> <td data-bbox="2027 1161 2689 1192"></td> </tr> </tbody> </table> | 科 目   | 時間数 | 講 師 | 1 講義 | 7 |  | 1) 医療的ケアを必要とする重度訪問<br>介護利用者の障害及び支援に関する<br>講義 | 4 | 関係する医学や在宅看護に関する知識を有する者<br>例 医師<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師<br>介護福祉士<br>指定居宅介護事業所サービス提供責任者 | 2) コミュニケーションの技術に関する講義 | 2 | 利用者の障害、疾病に関する知識を持つとともに、介護経験を生かした指導が可能な者<br>例 介護福祉士<br>指定居宅介護事業所サービス提供責任者<br>重度訪問介護従事者 | 3) 緊急時の対応及び危険防止について | 1 | 利用者の障害、疾病に関する知識を持つとともに、介護経験を生かした指導が可能な者<br>例 介護福祉士<br>指定居宅介護事業所サービス提供責任者<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師 | 2 実習 | 3 |  | 1) 介護サービス提供現場での実習 | 3 | 介護技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 介護福祉士<br>重度訪問介護従事者<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師 | 合 計 | 10 |  |
| 科 目  | 時間数  | 講 師   |     |     |      |   |  |  |   |  |                       |   |   |                     |   |   |      |   |  |                   |   |  |     |    |  |
| 1 講義   | 7  |   |     |     |      |   |  |  |   |  |                       |   |   |                     |   |   |      |   |  |                   |   |  |     |    |  |
| 1) 医療的ケアを必要とする重度訪問<br>介護利用者の障害及び支援に関する<br>講義 | 4  | 関係する医学や在宅看護に関する知識を有する者<br>例 医師<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師<br>介護福祉士<br>指定居宅介護事業所サービス提供責任者            |     |     |      |   |  |  |   |  |                       |   |   |                     |   |   |      |   |  |                   |   |  |     |    |  |
| 2) コミュニケーションの技術に関する講義                        | 2  | 利用者の障害、疾病に関する知識を持つとともに、介護経験を生かした指導が可能な者<br>例 介護福祉士<br>指定居宅介護事業所サービス提供責任者<br>重度訪問介護従事者           |     |     |      |   |  |  |   |  |                       |   |   |                     |   |   |      |   |  |                   |   |  |     |    |  |
| 3) 緊急時の対応及び危険防止について                          | 1  | 利用者の障害、疾病に関する知識を持つとともに、介護経験を生かした指導が可能な者<br>例 介護福祉士<br>指定居宅介護事業所サービス提供責任者<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師 |     |     |      |   |  |  |   |  |                       |   |   |                     |   |   |      |   |  |                   |   |  |     |    |  |
| 2 実習   | 3  |   |     |     |      |   |  |  |   |  |                       |   |   |                     |   |   |      |   |  |                   |   |  |     |    |  |
| 1) 介護サービス提供現場での実習                            | 3  | 介護技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 介護福祉士<br>重度訪問介護従事者<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師                          |     |     |      |   |  |  |   |  |                       |   |   |                     |   |   |      |   |  |                   |   |  |     |    |  |
| 合 計  | 10   |   |     |     |      |   |  |  |   |  |                       |   |   |                     |   |   |      |   |  |                   |   |  |     |    |  |
|  |  |   |     |     |      |   |  |  |   |  |                       |   |   |                     |   |   |      |   |  |                   |   |  |     |    |  |

| 新                           |            |   | 旧                       |           |   |
|-----------------------------|------------|---|-------------------------|-----------|---|
| ◎同行援護従事者養成研修                |            |   | 援護従事者養成研修               |           |   |
| (一般課程)                      |            |   | (一般課程)                  |           |   |
| 科目名                         | 時間数        | 講師  | 科目名                     | 時間数       | 講師  |
| <b>I 講義</b>                 | <b>8.5</b> |   | <b>I 講義</b>             | <b>12</b> |   |
| <b>1 外出保障</b>               | <b>1</b>   | 関係する法令及び制度に関する知識を有する者<br>例 社会福祉士・介護福祉士・相談支援専門員<br>福祉・看護系の大学、介護福祉士等養成校の教員<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者                                     | <b>1 視覚障害者（児）福祉サービス</b> | <b>1</b>  | 関係する法令及び制度に関する知識を有する者<br>例 社会福祉士・介護福祉士・相談支援専門員<br>福祉・看護系の大学、介護福祉士等養成校の教員<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者                 |
| <b>2 視覚障害者の理解と疾病①②</b>      | <b>1.5</b> | 利用者の視覚障害・疾病等に関する知識を有している者<br>例 医師<br>視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、<br>介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者                               | <b>2 同行援護の制度と従業者の業務</b> | <b>2</b>  | 関係する法令及び制度に関する知識を有する者<br>例 社会福祉士・介護福祉士・相談支援専門員<br>福祉・看護系の大学、介護福祉士等養成校の教員<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者                 |
| <b>3 視覚障害者（児）の心理</b>        | <b>1</b>   | 利用者の視覚障害等に関する知識を持つとともに、介助<br>経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、<br>介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>臨床心理士<br>公認心理士<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者 | <b>3 障害・疾病の理解①</b>      | <b>2</b>  | 利用者の障害・疾病等に関する知識を有している者<br>例 医師<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者                                   |
| <b>4 視覚障害者（児）福祉の制度とサービス</b> | <b>1.5</b> | 関係する法令及び制度に関する知識を有する者<br>例 社会福祉士・介護福祉士・相談支援専門員<br>福祉・看護系の大学、介護福祉士等養成校の教員<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者                                     | <b>4 障害者（児）の心理①</b>     | <b>1</b>  | 利用者の障害等に関する知識を持つとともに、介護経験を<br>生かした指導が可能な者<br>例 在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師<br>介護福祉士<br>臨床心理士<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者     |
| <b>5 同行援護の制度</b>            | <b>1</b>   | 関係する法令及び制度に関する知識を有する者<br>例 社会福祉士・介護福祉士・相談支援専門員<br>福祉・看護系の大学、介護福祉士等養成校の教員<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者                                     | <b>5 情報支援と情報提供</b>      | <b>2</b>  | 利用者の障害等に関する知識を持つとともに、介護経験を<br>生かした指導が可能な者<br>例 在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師<br>介護福祉士<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者              |
| <b>6 同行援護従業者の実際と職業倫理</b>    | <b>2.5</b> | 利用者の視覚障害等に関する知識を持つとともに、介助<br>経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、<br>介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者                   | <b>6 代筆・代読の基礎知識</b>     | <b>2</b>  | 利用者の障害等に関する知識を持つとともに、介護経験を<br>生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介<br>護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者 |
| <b>II 講義・演習</b>             | <b>3.5</b> |   | <b>7 同行援護の基礎知識</b>      | <b>2</b>  | 利用者の障害等に関する知識を有している者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介<br>護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者                      |
| <b>1 情報提供</b>               | <b>2</b>   | 利用者の視覚障害等に関する知識を有している者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、<br>介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者  | <b>II 演習</b>            | <b>8</b>  |   |
| <b>2 代筆・代読①②</b>            | <b>1.5</b> | 利用者の視覚障害等に関する知識を持つとともに、介助<br>経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、<br>介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者                   | <b>1 基本技能</b>           | <b>4</b>  | 介護技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介<br>護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者                   |
|                             |            |   | <b>2 応用技能</b>           | <b>4</b>  | 介護技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介<br>護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者                   |
|                             |            |   | <b>合計</b>               | <b>20</b> |   |



新

旧

| 科目名                  | 時間数 | 講師   |
|----------------------|-----|--|
| Ⅲ 演習                 | 16  |  |
| 1 誘導の基本技術①②          | 7   | 視覚障害者に対する介助技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者 |
| 2 誘導の応用技術（場面別・街歩き）①② | 5   | 視覚障害者に対する介助技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者 |
| 3 交通機関の利用            | 4   | 視覚障害者に対する介助技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者 |
| 合計                   | 28  |  |

| 新                       |          |  | 旧                   |           |   |
|-------------------------|----------|--|---------------------|-----------|---|
| (応用課程)                  |          |  | (応用課程)              |           |   |
| 科目名                     | 時間数      | 講師   | 科目名                 | 時間数       | 講師  |
| <b>I 講義</b>             | <b>6</b> |  | <b>I 講義</b>         | <b>2</b>  |   |
| <u>1 サービス提供責任者の業務</u>   | <u>1</u> | 関係する法令及び制度に関する知識を有する者<br>例 社会福祉士・介護福祉士・相談支援専門員<br>福祉・看護系の大学、介護福祉士等養成校の教員<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者                      | <u>1 障害・疾病の理解②</u>  | <u>1</u>  | 利用者の障害・疾病等に関する知識を有している者<br>例 医師<br>在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者                           |
| <u>2 様々な利用者への対応</u>     | <u>1</u> | 利用者の視覚障害・疾病等に関する知識を有している者<br>例 医師<br>視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者                    | <u>2 障害者（児）の心理②</u> | <u>1</u>  | 利用者の障害等に関する知識を持つとともに、介護経験を生かした指導が可能な者<br>例 在宅福祉サービスに関わる保健師・看護師<br>介護福祉士<br>臨床心理士<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者 |
| <u>3 個別支援計画と他機関との連携</u> | <u>1</u> | 利用者の視覚障害等に関する知識を持つとともに、介助経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>相談支援専門員<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者 | <b>II 演習</b>        | <b>10</b> |   |
| <u>4 業務上のリスクマネジメント</u>  | <u>1</u> | 関係する法令及び制度に関する知識を有する者<br>例 社会福祉士・介護福祉士・相談支援専門員<br>福祉・看護系の大学、介護福祉士等養成校の教員<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者                      | <u>3 場面別基本技能</u>    | <u>3</u>  | 介護技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者               |
| <u>5 従業者研修の実施</u>       | <u>1</u> | 利用者の視覚障害等に関する知識を持つとともに、介助経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者            | <u>4 場面別応用技能</u>    | <u>3</u>  | 介護技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者               |
| <u>6 同行援護の実務上の留意点</u>   | <u>1</u> | 利用者の視覚障害等に関する知識を有している者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者<br>指定同行援護事業所におけるサービス提供責任者                             | <u>5 交通機関の利用</u>    | <u>4</u>  | 介護技術に精通し、経験を生かした指導が可能な者<br>例 視覚障害者の支援に携わる者（保健師、看護師、介護福祉士、ホームヘルパー等）<br>視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者               |
|                         |          |  | 合計                  | 12        |   |

| 新                          |     | 旧  |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
|----------------------------|-----|--|--|-----|-----|----|------|---|--|----------------------------|---|---|----------------------------|---|--|------------------|---|--|------|----|--|--------------|---|---|-------------|---|--|------------------|---|--|-----------|---|--|----|----|--|
| 合計                         | 6   |  |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
| 同右                         |     | ◎行動援護従事者養成研修課程<br><table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>時間数</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 講義</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1) 行動援護にかかる制度およびサービスに関する講義</td> <td>2</td> <td>関係する法令及び制度に関する知識を有する者<br/>例 社会福祉士・介護福祉士<br/>行動援護サービス提供責任者</td> </tr> <tr> <td>2) 行動援護利用者の障害特性と障害理解に関する講義</td> <td>2</td> <td>利用者の障害等に関する知識を有している者<br/>例 社会福祉士・介護福祉士<br/>行動援護サービス提供責任者</td> </tr> <tr> <td>3) 行動援護の技術に関する講義</td> <td>2</td> <td>利用者の障害等に関する知識を有している者<br/>例 社会福祉士・介護福祉士<br/>行動援護サービス提供責任者</td> </tr> <tr> <td>2 演習</td> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1) 行動援護の事例検討</td> <td>4</td> <td>利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切に指導を行える者<br/>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br/>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br/>介護福祉士</td> </tr> <tr> <td>2) 行動の理解の実際</td> <td>3</td> <td>利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切な指導、助言を行える者<br/>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br/>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br/>介護福祉士</td> </tr> <tr> <td>3) 事例分析（グループワーク）</td> <td>4</td> <td>利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切な指導、助言を行える者<br/>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br/>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br/>介護福祉士</td> </tr> <tr> <td>4) 事例分析検討</td> <td>3</td> <td>利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切な指導、助言を行える者<br/>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br/>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br/>介護福祉士</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> |  | 科目名 | 時間数 | 講師 | 1 講義 | 6 |  | 1) 行動援護にかかる制度およびサービスに関する講義 | 2 | 関係する法令及び制度に関する知識を有する者<br>例 社会福祉士・介護福祉士<br>行動援護サービス提供責任者 | 2) 行動援護利用者の障害特性と障害理解に関する講義 | 2 | 利用者の障害等に関する知識を有している者<br>例 社会福祉士・介護福祉士<br>行動援護サービス提供責任者 | 3) 行動援護の技術に関する講義 | 2 | 利用者の障害等に関する知識を有している者<br>例 社会福祉士・介護福祉士<br>行動援護サービス提供責任者 | 2 演習 | 14 |  | 1) 行動援護の事例検討 | 4 | 利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切に指導を行える者<br>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br>介護福祉士 | 2) 行動の理解の実際 | 3 | 利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切な指導、助言を行える者<br>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br>介護福祉士 | 3) 事例分析（グループワーク） | 4 | 利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切な指導、助言を行える者<br>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br>介護福祉士 | 4) 事例分析検討 | 3 | 利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切な指導、助言を行える者<br>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br>介護福祉士 | 合計 | 20 |  |
| 科目名                        | 時間数 | 講師   |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
| 1 講義                       | 6   |  |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
| 1) 行動援護にかかる制度およびサービスに関する講義 | 2   | 関係する法令及び制度に関する知識を有する者<br>例 社会福祉士・介護福祉士<br>行動援護サービス提供責任者  |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
| 2) 行動援護利用者の障害特性と障害理解に関する講義 | 2   | 利用者の障害等に関する知識を有している者<br>例 社会福祉士・介護福祉士<br>行動援護サービス提供責任者   |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
| 3) 行動援護の技術に関する講義           | 2   | 利用者の障害等に関する知識を有している者<br>例 社会福祉士・介護福祉士<br>行動援護サービス提供責任者   |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
| 2 演習                       | 14  |  |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
| 1) 行動援護の事例検討               | 4   | 利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切に指導を行える者<br>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br>介護福祉士  |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
| 2) 行動の理解の実際                | 3   | 利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切な指導、助言を行える者<br>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br>介護福祉士   |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
| 3) 事例分析（グループワーク）           | 4   | 利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切な指導、助言を行える者<br>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br>介護福祉士   |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
| 4) 事例分析検討                  | 3   | 利用者の障害等に関する知識・経験を有し、適切な指導、助言を行える者<br>例 行動援護従事者中央セミナー修了者<br>行動援護対象者へのサービス提供者（実務経験3年以上）<br>介護福祉士   |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |
| 合計                         | 20  |  |  |     |     |    |      |   |  |                            |   |   |                            |   |  |                  |   |  |      |    |  |              |   |   |             |   |  |                  |   |  |           |   |  |    |    |  |